

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	80		事務事業名 (中事業名)	ゲンジボタルの里管理事業 ()					
予算科目	10	05	01	大事業	03	中事業	00	担当課名	生涯学習課
総合計画施策コード	332			事務開始年度	平成2年度		備考		
根拠法令等	-						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	ゲンジボタルの里を維持管理することにより、市内の貴重な自然環境の保全とともに一般市民や地区内小学生・中学生に自然の大切さを学ぶ機会と憩いの場を提供するため。
事業の対象 (誰(何)のために)	一般市民
事業の概要 (具体的に何を)	市はゲンジボタルの里区域を借り受け、自然観察の木道等を設置している。また、平原地域の自然環境とホテル生息域の保護活動を目的に設立された平原ゲンジボタルの里保存会と施設の管理業務等の委託契約を締結している。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	3,000,671円	3,023,889円	2,842,000円	
事業にかかる人工	0.20人	0.20人	0.20人	
事業にかかる人件費②	1,437,512円	1,453,290円	1,456,556円	
総事業費③(①+②)	4,438,183円	4,477,179円	4,298,556円	
総財源業内費 ③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	4,438,183円	4,477,179円	4,298,556円
	その他	0円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	38,996円	R2 総事業費③の対前年度比率	0.88%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	設備整備委工事	木道の改修	1,507,000円	
	管理委託料	ホテル祭りの実施及び施設管理、清掃除草作業、施設内の自然保護・監視など	765,000円	
	敷地借上料		516,439円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	ホテル祭り期間中の飛翔数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	300	匹	300	匹	300	匹
	実績値	105	匹	0	匹	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	ホテル祭り来場者数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	5,000	人	5,000	人	3,000	人
	実績値④	3,186	人	0	人	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度	令和2年度		令和3年度		
		1,393円	0円		*****		

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	施設管理、環境保全、イベント行事
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	市内でホテルを鑑賞できる貴重な自然が残っている地区であり、地域の小中学生の貴重な学び場となっており終期は見込めない。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない —:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		◎	単位コストは、前年を下回っているか		○
	国・県・市・民間との役割は適切か		◎	事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか		◎
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		◎	委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか		○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		○	事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか		◎
有効性	事業の目的は達成できているか		○	受益者に偏りはないか		◎
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		○	受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か		◎
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		○	受益者負担の割合は適切か		—
	他市町村と比べて上位に位置しているか		—	サービスの提供方法に公平性を欠いていないか		◎
評価の総合的なコメント	適正に遂行されていると考える。					
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める				
	(理由)	ホテル祭り期間天候に左右されるものの4,000人前後の鑑賞者が訪れる。ホテル保全地域として周知され、環境を学ぶ機会が提供できていると考える。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	事業の実施はゲンジボタルの里保存会が主導的に行っている。					
事業全体の課題	木道や手すりの老朽化が著しく毎年120万円程度の費用で修繕で対応しているが大変危険である。全体を擬木で整備した場合、2億円程度の費用が見込まれる。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	近隣市に同程度規模の施設がない。
---------------	------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	環境保全課と連携して平原ゲンジボタルの里保存会の活動紹介やホテルの飛翔数増加の取り組みを考えては(R1.12月 他課職員の意見)
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	今後、施設の老朽化対策費用がかさむためエリアを狭くするなど関係者と調整協議をしていく必要がある。
--------	--

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	81	事務事業名 (中事業名)	青少年健全育成事業 ()						
予算科目	10	05	02	大事業	01	中事業	00	担当課名	生涯学習課
総合計画施策コード	363			事務開始年度	昭和54年度		備考		
根拠法令等	西尾市少年愛護センターの設置及び運営に関する規則						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	青少年の非行防止や健全育成のため。
事業の対象 (誰(何)のために)	青少年
事業の概要 (具体的に何を)	西尾市少年愛護センター運営協議会運営協議会委員による啓発活動、西尾市少年愛護センター少年補導委員による街頭補導活動、「ふるさとワクワク体験塾」を実施。なお「社会を明るくする運動・西尾市青少年健全育成市民大会」と市制65周年記念事業「たくましい西尾っ子大会」は台風接近のため実施出来ませんでした。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	1,719,451円	1,078,013円	1,996,000円	
事業にかかる人工	0.40人	0.40人	0.40人	
事業にかかる人件費②	2,875,023円	2,906,581円	2,913,111円	
総事業費③(①+②)	4,594,474円	3,984,594円	4,909,111円	
総財源業内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	4,528,874円	3,944,394円	4,861,111円
	その他 参加費	65,600円	40,200円	48,000円
R2 総事業費③の対前年度差額	-609,880円	R2 総事業費③の対前年度比率	-13.27%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	新型コロナウイルス感染症のため事業の規模を縮小したため。			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	ふるさとワクワク隊円 執事委託料	開催回数8回、延べ参加者90人	493,735円	
	少年補導委員街頭活動 謝礼	実施回数135回、延べ従事者333人	333,000円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	少年補導委員街頭補導活動の実施回数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	230	回	230	回	135	回
	実績値	212	回	135	回	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	少年補導委員街頭補導活動の延従事者数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	600	人	600	人	333	人
	実績値④	526	人	333	人	*****	
活動一単位当たりの コスト(③÷④)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		8,735円		11,966円		*****	

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	ふるさとワクワク体験塾の企画運営
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	青少年の健全育成のため、行政、家庭、学校、地域での連携が必要であり、本事業に市が関わっていくことは必要と考え終期は見込めない。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない —:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か		◎		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか		○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		—		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	適正に遂行されていると考える。					
事業の方向性	(評価)	6 その他				
	(理由)	近年では街中での問題行動は見かけることは少なくなってきたが、不登校やひきこもり等への対応が必要となってきた。このような状況から補導のあり方を見直す必要がある。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	ふるさとワクワク体験塾は実行委員会へ委託。少年補導委員街頭補導活動は小・中・高校PTA、保護司などの団体と協力して行っている。					
事業全体の課題	コロナ禍での実施方法、謝礼支払事務					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	街頭巡回回数 A市…105回（平成30年度を最後に令和元年度以降は実施しない） H市…2回
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	不登校・ひきこもり対策として令和3年6月に子ども・若者総合相談センター「コンパス」を設置したところ想定を上回る利用者があり、ニーズの高さが伺えた。
-----------------	---

●改善案【ACTION】

今後の改善策	ふるさとワクワク体験塾実行員会と話し合い、子どもの育成に良い体験ができるよう内容を検討する。不登校、ひきこもり対策として令和3年6月に子ども・若者総合相談センター「コンパス」を設置した。今後は街頭補導活動よりコンパスの事業に注力していく必要がある。
--------	--

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	82	事務事業名 (中事業名)	成人式実施事業 ()						
予算科目	10	05	02	大事業	02	中事業	00	担当課名	生涯学習課
総合計画施策コード	363		事務開始年度	不明		備考			
根拠法令等	-				作成月	令和3年9月			

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	新たに大人の仲間入りをする新成人の門出を祝福するとともに、社会人としての新たな自覚と誇りをもって、将来の西尾市の発展に貢献できるよう新成人を祝う集いを開催。
事業の対象 (誰(何)のために)	新成人…令和2年度(令和3年1月開催)は、平成12年4月2日から平成13年4月1日生まれで、原則として、西尾市に住民登録のある人
事業の概要 (具体的に何を)	市内各中学校出身者の代表で構成する成人式実行委員会が自分たちの成人式を自ら企画・運営して開催する。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として式を3部制にして令和3年1月10日に開催。新成人の総数1,949人。成人式の参加者数1,361人。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	5,074,795円	8,457,352円	5,006,000円	
事業にかかる人工	0.50人	0.50人	0.50人	
事業にかかる人件費②	3,593,779円	3,633,226円	3,641,389円	
総事業費③(①+②)	8,668,574円	12,090,578円	8,647,389円	
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	8,548,574円	12,090,578円	8,646,389円
	その他 広告	120,000円	0円	1,000円
R2 総事業費③の対前年度差額	3,422,004円	R2 総事業費③の対前年度比率	39.48%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	新型コロナウイルス感染症の拡大により成人式の開催が危ぶまれたことから記念品としてラインスタンプ(385万円)を作成したため。			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	成人式委託料	会場設営費、アトラクション費、案内はがき郵送費、YouTubeライブ配信、ラインスタンプ作成費等	8,457,352円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけ成果(成果指標)を得るために、どれだけ活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	成人式参加率					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	80	%	80	%	75	%
	実績値	75	%	70	%	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	成人式実行委員会開催数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	80	回	11	回	10	回
	実績値④	14	回	11	回	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度	令和2年度		令和3年度		
		619,184円	1,099,143円		*****		

●担い手の点検と事業の終期【D0】

事業の委託状況	全て委託している	委託の内容	成人式の企画・運営
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和4年
事業の終了時期が未定の場合の理由	新成人を祝う全国的社会行事であり、民法改正後（令和4年4月以降）も20歳を対象に「（仮称）20歳のつどい」として開催することが決定している。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない —:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	◎	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か	◎		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	◎		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか	◎	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	○		受益者負担の割合は適切か	—
	他市町村と比べて上位に位置しているか	—		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	◎
評価の総合的なコメント	適正に遂行されていると考える。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める			
	(理由)	対象者にとって特別なイベントであり市内の美容院や呉服店などの事業所への影響も少なくないことから特別な事情がない限り事業を継続していく必要があると考えるため。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	新成人の代表者による成人式実行委員会へ委託している。				
事業全体の課題	会場としている文化会館が大規模改修に入る（令和5年11月～令和6年12月工事予定）ため、令和6年成人式は会場を総合体育館に変更することにより会場関係費の増加が見込まれる。				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	令和2年度（令和3年1月実施、予算に人件費は含まず）近隣市の実施状況 A市 出席率 68.8% B市 出席率 69.6%
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	これから西尾市を担っていく若者の支援、応援をすることは大変意義のある事業だと思います。参加した若者も大人としての責任を自覚するきっかけになると思われます。（R1・12月他課職員の意見）
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	Withコロナで実施していく。
--------	-----------------

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	83	事務事業名 (中事業名)		家庭教育事業 ()					
予算科目	10	05	03	大事業	02	中事業	00	担当課名	生涯学習課
総合計画施策コード	361		事務開始年度	平成17年度		備考			
根拠法令等	-		作成月	令和3年9月					

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	子どもたちが親や地域とのふれあいを深め、自立を支援する。子どものしつけや家庭教育を見つめ直す機会を設け、地域ぐるみで家庭教育の活性化を図る。
事業の対象 (誰(何)のために)	乳幼児・保育園・幼稚園・小学生・中学生とその親
事業の概要 (具体的に何を)	親子ふれあい体験、環境整備などを学校中心に活動しているおやじの会に委託。放課後に公民館等の地域の施設を活用し、子どもたちの安心・安全な居場所を設け、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する放課後子ども教室事業(寺子屋にしお)。家庭教育の充実を図るため、親子でともに学習し、活動する機会を提供する家庭教育講座を実施。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	8,549,357円	5,017,688円	8,008,000円	
事業にかかる人工	0.40人	0.40人	0.40人	
事業にかかる人件費②	2,875,023円	2,906,581円	2,913,111円	
総事業費③(①+②)	11,424,380円	7,924,269円	10,921,111円	
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	3,583,000円	0円	0円
	市費	7,254,580円	7,735,269円	10,692,111円
	その他 受講料	586,800円	189,000円	229,000円
R2 総事業費③の対前年度差額	-3,500,111円	R2 総事業費③の対前年度比率	-30.64%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、緊急事態宣言中の寺子屋にしお、講座等が中止となったため。			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	おやじの会応援ルーム 委託料	17校×70,000円	1,148,857円	
	寺子屋にしお教育活動 推進員謝礼	1時間@1,300円×2,014時間(指導員24名、延年458日)	2,618,200円	
	家庭教育講座(謝礼)	保育園・幼稚園(9園)11回、小学校(1校)1回、中学校(3校)3回、養老教育学校(1校)4回	161,900円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	家庭教育学級事業(おやじの会応援ルーム)延参加者数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	18,000	人	9,000	人	8,000	人
	実績値	15,417	人	8,545	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	家庭教育学級事業(おやじの会応援ルーム)設置数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	20	団体	20	団体	23	団体
	実績値④	17	団体	20	団体	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度	令和2年度		令和3年度		
		672,022円	396,213円		*****		

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	家庭教育に関する行事の企画運営
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	地域とともに家庭教育を推進していくことを目的としており終期は見込めない。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	◎	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か	○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか	○	公平性	受益者に偏りはないか	◎
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	◎		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか	○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	◎
評価の総合的なコメント	適正に遂行されていると考える。				
事業の方向性	(評価)	2 今後は、内容を見直して事業を拡大する			
	(理由)	子ども大学は現在2か所で実施しているが、実施場所、方法等を検討し、今後の方向性を考えていく。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	おやじの会、寺子屋にしおの設置数を増やす。				
事業全体の課題	おやじの会の設立を増やしたいが現段階ではおやじの会が消滅しているところがあり、増やすのは難しい。家庭教育講座は新型コロナの影響で学校・園よりの申請数が減っている。現在は仕方ないが今後、増えるように努力しないとけない。				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	おやじの会 A市…2校 H市…7校 放課後子ども教室 A市…0校 H市…1校 家庭教育講座 A市…各公民館が小中学校・保育園に支援 H市…2回 (市が主催する講座)
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	現状を把握したうえで親子の触れ合い、地域の人々との交流の機会を充実する。現在学校で行なっているサタデープランが令和5年度から生涯学習課で行いよていをしている。
--------	---

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	84	事務事業名 (中事業名)		吉良町公民館管理運営事業 ()					
予算科目	10	05	04	大事業	13	中事業	00	担当課名	生涯学習課
総合計画施策コード	332		事務開始年度	昭和49年度		備考			
根拠法令等	西尾市公民館の設置及び管理に関する条例						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	市民が快適に吉良町公民館を利用することができるように施設の適切な運営及び維持管理を行う。
事業の対象 (誰(何)のために)	施設利用者(市民及び地域住民)
事業の概要 (具体的に何を)	市民が身近な学習・交流(各種サークル活動、会合等)の場として利用できるように部屋を貸し出しているほか、生涯学習講座や「公民館ふれあいの集い」を施設の行事として開催している。また、施設及び機械設備の維持管理や修繕などを実施。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	11,352,943円	9,879,422円	0円	
事業にかかる人工	4.00人	4.00人	0.00人	
事業にかかる人件費②	28,750,232円	29,065,808円	0円	
総事業費③(①+②)	40,103,175円	38,945,230円	0円	
総財源内費 の ③	使用料・手数料	911,300円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	38,882,675円	38,853,230円	0円
	その他 講座受講料	309,200円	92,000円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	-1,157,945円	R2 総事業費③の対前年度比率	-2.89%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	消耗品費	施設管理用消耗品、新型コロナウイルス対策用消耗品	522,928円	
	施設維持管理委託料	清掃業務、空調装置保守点検、エレベーター保守点検等	6,942,230円	
	工事請負費	館内ガラス飛散防止フィルム貼付等	1,166,000円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	施設利用者数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	58,000	人	58,000	人		人
	実績値	41,150	人	10,988	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	講座数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	35	件	35	件		件
	実績値④	35	件	10	件	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		1,145,805円		3,894,523円		*****	

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	施設維持管理委託（空調設備保守等）
事業の終了時期	令和元年度	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	
事業の終了時期が未定の場合の理由			

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		—	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	—
	国・県・市・民間との役割は適切か		—		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	—
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		—		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	—
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		—		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	—
有効性	事業の目的は達成できているか		—	公平性	受益者に偏りはないか	—
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		—		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	—
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		—		受益者負担の割合は適切か	—
	他市町村と比べて上位に位置しているか		—		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	—
評価の総合的なコメント						
事業の方向性	(評価)	5 今後は、民営化か事業を廃止する				
	(理由)	令和3年4月1日をもって公民館を廃止し、同日から「きら市民交流センター」を設置し、運営しているため。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性						
事業全体の課題						

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	近隣市町においても公民館施設の管理運営事業を行っている。
---------------	------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	令和3年4月1日公民館廃止
--------	---------------